

カベを突破できる若手人材を育成

# 社内新規事業開発ディレクター養成プログラム

## —事業構想プレ講座—

### 募集要項

開講日程

2021年9月18日（土）～2022年1月22日（土）  
10:30～17:50  
（土曜・月2回ペース）

会場

事業構想大学院大学 福岡校  
（オンライン同時中継）

応募締切

第1回：8月15日（日）  
第2回：8月29日（日）  
第3回：9月 5日（日）

**受講料無料**



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学

# [ 1 ] コロナ後に求められる人材とは？

## 自律的にプロジェクトを推進していく 若手人材がこれからの社会をけん引

コロナ禍により、業種を問わず企業においては、市場、業態が激変し、既存事業のあり方そのものが変化を余儀なくされています。そうした状況において新規事業開発は、企業の永続的成長にむけての有効な手段です。平時においては、企業が新規事業を推進する際、過去の成功体験、既存事業との軋轢、前例主義に基づくカベなど、いわゆる「イノベーションのジレンマ」が新しい取り組みを阻害してきました。大企業を中心に、意欲ある若手社員が既存組織のカベに阻まれて次第に意欲を失っていくこともよく見られたことです。

コロナによって職を失う方が大量に出る一方で、成長分野においては、自律的にプロジェクトを推進していく人材が強く求められています。特に新規事業開発を推進できる人材には大きな期待があります。さらに、テレワークやジョブ型の働き方、首都圏以外での地方での就労・移住についても関心が高まっています。

本学は、東京、名古屋、大阪、福岡の4キャンパスの拠点がありますが、その中でも福岡に最も「成長産業」と「若手人材」が集積しています。本プログラムでは、福岡校を拠点に、企業内で新規事業開発を推進できるディレクター人材を養成します。

新規事業開発においては、

- ①現状の経営資源を正確に分析する力
- ②常識や前例にとらわれないアイデア発想力
- ③アイデアをビジネスモデルに昇華させる事業構想力
- ④組織内でリーダーシップをとり、プロジェクトを推進していくコミュニケーション力

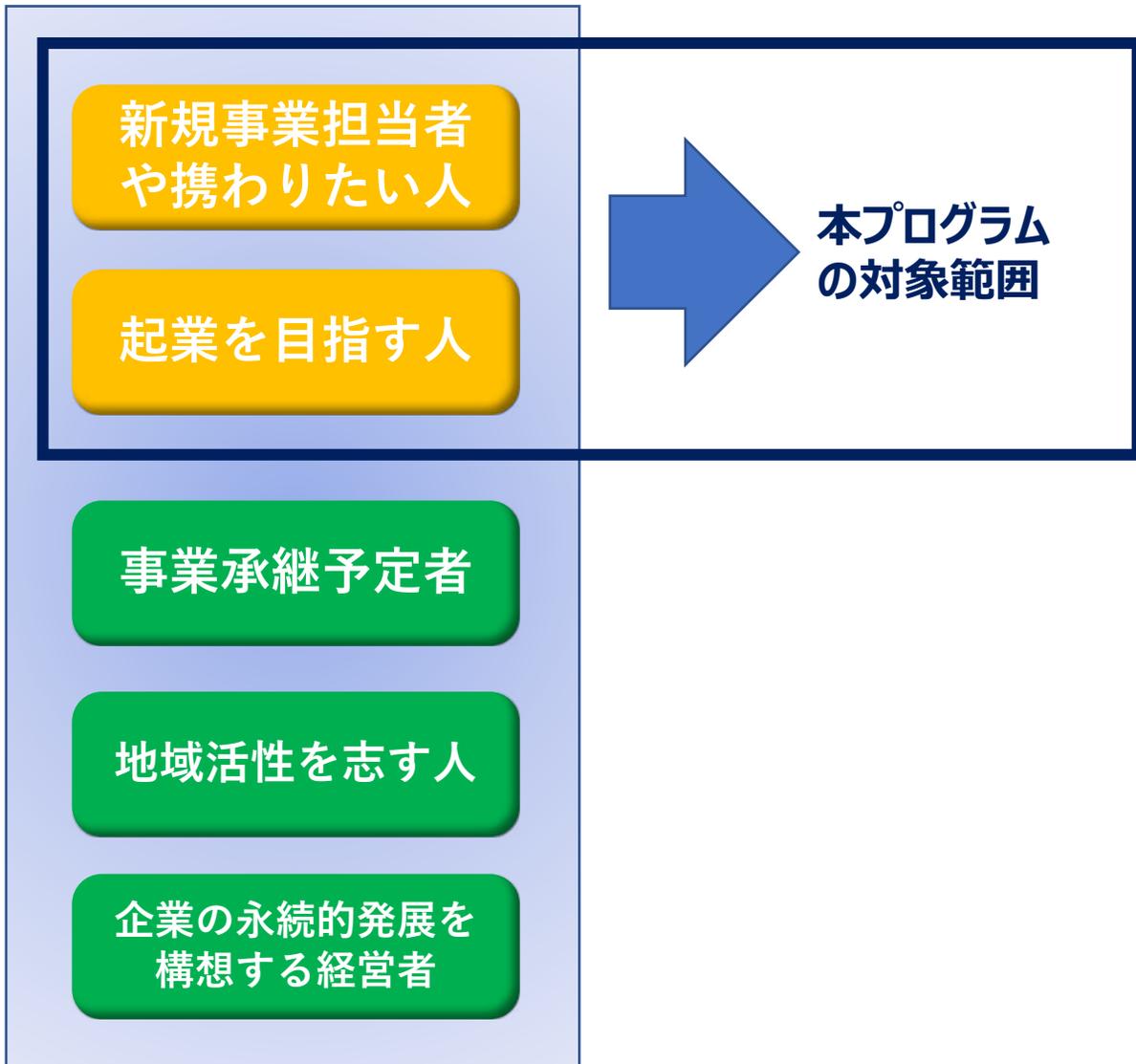
などが求められますが、その基礎力を本プログラムで身に付けます。

本プログラムで基礎的能力を身に付けて、自身のキャリアに資するとともに、本学の修士課程への進学の道も視野に置いた「事業構想プレ講座」ともいえるプログラムです。

## [ 2 ] 本学が育成する人材と本プログラムの対象

本学は2012年の開学以来、主に下記の人材を育成しています。  
本プログラムでは、上記の人材群のなかでも特に、  
「新規事業担当者や携わりたい」、「起業を目指す」若手人材を主な対象とします。

### 本学が育成する人材



今回のプログラムでは、通常2年間の修士課程のプログラムのエッセンスのみを扱います。したがって、より事業構想を探究したい方は、修士課程に進学することをお勧めします。

## [ 3 ] 事業構想に欠かせない要素



### 事業構想は、スキルではなく、クリエイティブ。

スキルとは、一定の手順を踏めば一定の成果がでるものです。新たな事業をあるメソッドで実行すれば、必ず成功するというものでは決してありません。ある程度確率を高めることはできますが、それよりもアイデアが重要です。

本学は、授業を受ければ、何かできるようになるであろう、昇進や転職に有利になるであろう、という受け身の動機の方には向いていません。単に受け身で授業を聞いているのではなく、常に能動的、積極的にものごとを吸収して、アイデアを考えていく姿勢でなければ、事業構想は実現できません。

本気になれる、つまり、何かやってみたい、それが漠然としていても結構です。事業構想には、自分がやらなければいけないという使命感が重要です。

## [ 4 ] MBAとMPDのちがい

### **MBA** Master of Business Administration 経営管理修士

既存の事業あるいは既存のアイデアを分析し、  
利益の最大化を目指して、  
経営をマネジメントすることを目的とする。

### **MPD** Master of Project Design 事業構想修士

事業の根本のアイデアから発想し、  
理想となる事業構想を考え、  
実現可能になるようアイデアを膨らませ、  
構想計画を構築していく新規事業開発が目的。



## [5] なぜ福岡で開講するのか

福岡は全国でも最も「成長産業」と「若手人材」が集積している地域です。

福岡市が統計上、把握しているだけで、8年連続で毎年50社以上の「成長産業」が、福岡市内に流入してきています。実際はその3倍程度と推測されていますので、1200社以上が流入していると考えられています。人が人を呼ぶという産業集積効果を考えると、事業構想にとって、日本で最も有望な地域は「福岡」であるといっても過言ではありません。東京在住の経営者が、「二拠点化」の拠点として、福岡を選び、東京と福岡を行き来しているケースも見られます。

教員陣も、構想を実現するためのプロフェッショナルがそろっています。

毎年50社×8年間連続  
=400社

市が把握していないものも含めると  
約1200社

下請的業務からクリエイティブ産業へ変貌



出典：福岡市ホームページ

## [6] カリキュラム概要

日程：2021年9月18日（土）～2022年1月22日（土）10:30～17:50  
 会場：事業構想大学院大学福岡校（オンライン同時中継）

2021.7.12現在

回	月日	曜	1限:10:30-12:00	2限:13:00-14:30	3限:14:40-16:10	4限:16:20-17:50
1	9/18	土	(受付)	開講式・ガイダンス	事業構想概論 (井手隆司)	
2	9/23	祝	日本政策金融公庫連携授業(事例研究) 九州統括 古園伸一郎	北部九州信用金庫協会連携授業(事例研究) 専務理事 篠原幸治	フィールドワーク・オリエン編 (若林宗男) + 古園、篠原	
3	10/2	土	マーケティング (井手隆司)		アントレプレナーシップ (坂本剛)	
4	10/16	土	アイデア発想 (大野 尚)		ビジネスモデル (石井 敬)	
5	10/30	土	事業構想策定演習 (内田一博)		DXと事業構想 (村上和彰)	
6	11/13	土	組織と人材 (早崎栄一)		プレゼンテーション (納富)	
7	11/27	土	信州大学連携授業「製造業の新規事業」 藤尾 宗太郎 信州大学特任助教 / 株式会社タカノ 生産技術部		フィールドワーク・発表会 (若林宗男)	
8	12/11	土	事業構想アイデア演習Ⅰ (井手・大野+本学修了生) ①		事業構想アイデア演習Ⅱ (石井・坂本+本学修了生) ①	
9	12/25	土	事業構想アイデア演習Ⅰ (井手・大野+本学修了生) ②		事業構想アイデア演習Ⅱ (石井・坂本+本学修了生) ②	
10	1/8	土	事業構想アイデア演習Ⅰ (井手+本学修了生) ③		事業構想アイデア演習Ⅱ (石井・坂本+本学修了生) ③	
11	1/22	土	発表会			閉講式

## [7] 担当教員 (その1)

事業構想大学院大学の精鋭教員陣が本プログラムを担当します。(敬称略)



**井手 隆司**  
教授  
スカイマークエアラインズ元社長、会長

1976年西南学院大学文学部外国語学科英語専攻卒業し、キャセイパシフィック航空に入社、1989年9月ブリティッシュ・エアウェイズ社入社。1998年6月同社日本地区営業部長に就任。同年12月スカイマークエアラインズ代表取締役社長に就任。2003年1月同社取締役副会長、2009年5月取締役会長、翌年6月代表取締役会長に就任し、生産部門管掌・安全統括管理を担当。2015年12月エアアジアジャパン代表取締役会長に就任。2017年同社執行役会長を経て現職。同社において、就航の道筋をつける。一貫して航空業界で事業戦略、マーケティングに携わる。



**石井 歓**  
特任教授  
元 日本政策投資銀行 常務執行役員  
前 (株)西日本新聞社 取締役、前 日本ピストンリング(株) 取締役

1977年日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。財務部長、プロジェクトファイナンス部長、九州支店長、常務執行役員等を歴任。エネルギー・都市開発等の大型プロファイ案件に加えPEファンドやベンチャー企業への出融資も担当。2010年会社更生法適用となった日本航空の再建チームに中核メンバーとして参画。2011年から福岡地所社長を4年務めた後、同社の海外業務開拓に注力。2018年西日本新聞社取締役。(～2021)ビジネス開発局を管掌し、新規事業等を担当。現在はスタートアップ企業への助言等を通じ、ライフワークである「九州を元気にする」ことに挑む。



**大野 尚**  
特任教授  
ビッグ・フィールド・マネージメント(株)代表取締役、(株)ひみかな 取締役、(株)アイキューブドシステムズ 監査役(社外)、FUTAEDA(株)取締役(社外)、福岡大学 経済学部 非常勤講師、rkbラジオ「櫻井浩二インサイト」コメンテーター

10代での単身ヨーロッパ旅行をきっかけにイタリアに游学、精力的に世界を巡る旅を始め、現在までに訪れた国は120数カ国。様々な仕事を経験した後、偶然の出会いがきっかけで当時は無名だった株式会社エイチ・アイ・エスの創業に参画。九州・中国地方を自ら切り開き、独立採算制の下、東は岡山、鳥取より南は鹿児島まで22支店を開設。3部門を統括し、ローマ支店の設立、沖縄金秀商事との合併事業などを行い、年間3000万円に満たなかった九州中国内の売上を百数十億円まで伸ばす。エイチ・アイ・エス、スカイマークの躍進を支え続け、2004年より自己の会社ビッグ・フィールド・マネージメントを設立。

## [7] 担当教員 (その2)



**坂本 剛**  
特任教授  
QBキャピタル 代表パートナー

1989年九州大学工学部生産機械工学科卒業。2008年九州大学経済学府産業マネジメント専攻（経営修士（専門職））。大企業・中小企業・ベンチャー企業を経験し、2004年1月から九州大学知的財産本部において大学発ベンチャー支援、インキュベーション活動を行う。2010年4月から(株)産学連携機構九州（九大TLO）代表取締役就任。2015年4月にQBキャピタルを設立しQBファンド（約31億円）の運営を開始。九州地域の大学発ベンチャー・技術系ベンチャーを中心に投資を行う。現職のほか、福岡ベンチャークラブ理事、政府系ベンチャー支援補助金・助成金等の委員、投資先の社外取締役複数、エディア（2016年マザーズ上場）社外取締役等を務める。二級建築士、メシコレ キュレーター。講演等多数。



**早崎 栄一**  
特任教授  
福岡インターナショナルスクール 常務理事

1983年住友銀行入社。1990年福岡銀行入社。福岡銀行において人財開発センター長、東京事務所長、市場営業部長、リスク管理部長、FFGビジネスコンサルティング社長を経て、2018年5月より福岡インターナショナルスクール常務理事就任。この間、福岡銀行内でシンジケートローン・デリバティブなど法人部門の新規業務を立ち上げる。その後、GE系リース会社に出向しGEの研修制度を学び、ふくおかフィナンシャルグループ発足に伴う子銀行3行（福岡・熊本・親和）の研修制度の創設に携わった。



**内田 一博**  
客員教授  
iBankマーケティング(株)取締役、(株)ふくおかフィナンシャルグループ  
イノベーション推進部 主任調査役

九州大学法学部卒業、一橋大学大学院国際企業戦略研究科修了、同博士課程中退。1991年、三井生命保険相互会社入社。損害保険子会社、米国の独立フィナンシャルアドバイザー事業の日本化など規制緩和に伴う新規事業に立ち上げメンバーとして参画。ソニー生命保険株式会社経営企画部を経て、2007年より三菱アセット・ブレインズ株式会社の執行役員（マーケティング担当）として、投資家の立場に立った金融機関の営業改革支援業務を推進。2018年7月に福岡銀行に入行、現在に至る。

## 〔7〕 担当教員 (その3)



**納富 昌子**

**客員教授**

**RKB毎日放送 (株) エグゼクティブ・アドバイザー、西部ガス (株) マーケティング・女性活用アドバイザー、福岡国際空港 (株) 広報アドバイザー**

1953年福岡県飯塚市生まれ。1976年西南学院大学卒業後、RKB毎日放送入社。アナウンス研修の後報道部に配属。全国でも初めての女性放送記者として現場を経験。1985年RKBニュースワイドキャスターに2000年までニュースの伝えてとして活躍。その間福岡県女性問題懇話会・福岡市女性センター理事・九州大学、西南学院大学評議員・福岡県人権啓発センター・福岡県救急医療協議会など各種委員を歴任・現在西部ガス・福岡国際空港など地元企業のアドバイザーもつとめる。マイケル・サンデルハーバード大学教授の福岡招聘はじめ、数々の地域創生や生涯学習・文化イベントをてがける。地元大学での講義・地域での講演多数。



**村上 和彰**

**客員教授**

**(株)DXパートナーズ シニアパートナー&代表取締役、九州大学名誉教授**

1987年より九州大学にてコンピュータシステムアーキテクチャの教育研究に従事、2015年末に早期退職。その間、情報基盤研究開発センター長、情報統括本部長、公益財団法人九州先端科学技術研究所副所長を歴任。2016年2月に株式会社チームAIBODを創業、多くの企業のAI導入、データ利活用、DXを支援。2020年4月に株式会社DXパートナーズを創業、シニアパートナー&代表取締役。国立大学法人九州大学名誉教授、京都大学博士(工学)。本学事業構想研究所「福岡DXプロジェクト研究」担当教員。



**若林 宗男**

**客員教授**

**若林ビジネスサポート代表、内閣府地域活性化伝道師、九州観光推進機構海外担当**

国際基督教大学教養学部を卒業。株式会社東京12チャンネル(現テレビ東京)に入社。ニューヨーク支社を開設し支社長兼特派員として活動。ワールドビジネスサテライトを企画、初代ニュースキャスターを担当。インターネット黎明期の1995年にテレビ東京のホームページを開設。2011年、福岡市に移住。地域社会と中小企業をサポートする若林ビジネスサポートを設立。2015年に九州未来会議で九州広報センターの設立を提案、一般社団法人九州観光推進機構の中に九州観光広報センターが設立され副センター長兼海外担当となる。

## [ 8 ] 主なゲスト講師 (順不同)

### 篠原 幸治

一般社団法人 九州北部信用金庫協会 専務理事

福岡県出身。青山学院大学卒。社団法人東京都信用金庫協会、一般社団法人全国信用金庫協会を経て、2014年より現職。東京時代の経験・人脈をもとに様々な各種中小企業支援を展開。

- ①営業支援：しんきん合同商談会、課題解決研究会
- ②経営支援：新現役交流会、開放特許マッチングなどを実施。人を大切にする経営学会九州支部
- ③広報支援：書籍『遊撃する中小企業 福岡・佐賀・長崎の注目企業15社』(梓書院)、冊子『マッチング事例集』など企画の他、中小企業支援や信用金庫の動画を多数制作。地域内の大学や信用金庫で「信用金庫と地域経済」をテーマに講演多数。

### 藤尾 宗太郎

信州大学 特任助教

株式会社タカノ 生産技術部 3Dプリンタ工程 推進責任者

福岡県出身。2006年エプソン販売株式会社へ入社。首都圏で法人営業に従事。2012年に働きながら社会人大学院へ通い、2014年にMBAを修得(中央大学大学院戦略経営研究科マーケティング専攻)。2015年から親会社であるセイコーエプソンへ出向し国内外の販売管理・製品企画に従事。2018年に同社を退社し国立大学法人信州大学が主導する「信州100年企業創出プログラム」へ参加。ミッションである「株式会社タカノにおける新規事業創出(金属3Dプリンター)」を実現し新規部署を設立。現在は同部署の責任者を務める。並行して信州大学特任助教として地域活性・キャリア教育に携わる。

### 古園 伸一郎

日本政策金融公庫 中小企業事業本部

九州地区統轄

福岡県北九州市出身。鹿児島大学卒業。中小企業金融公庫(現・日本政策金融公庫)入職後、北九州支店長、本店リスク管理部長、同事業管理部長等を歴任し現職。九州全県の中堅・中小企業の取引先約5,500社を統括する責任者。

## [9] 開講概要

### 開講期間

2021年9月18日（土）～2022年1月22日（土）  
各回の受講時間 10:30～17:50

### リアル受講（校舎）

事業構想大学院大学 福岡校  
福岡市中央区天神2-14-8天神センタービル7階  
地下鉄空港線「天神駅」1番出口直結

### オンライン受講（双方向同時中継）

福岡校からZoomで同時中継します。自宅等で受講可能です。  
（カメラをONにできる環境にて受講していただきます）

※教室、オンラインのハイブリッド形式のため全国より参加可能ですが、双方向によるディスカッション、グループワーク等も多く実施しますので、できれば1回は福岡校でリアル受講して、受講生同士で直接コミュニケーションをとる機会つくっていただくことをお勧めします（交通費は自己負担）。

### 主な受講対象

新事業、新規事業を通して、社会に貢献したいと考える若手の方

- 成長分野での新規事業開発に取り組みたい
- 成長企業への転職を考えている
- 本学修士課程に関心があり、将来的に入学を検討している など

### 受講料

**無料**（文部科学省の助成による）

受講料は無料ですが、それ以外の費用は基本的には自己負担となります。

※校舎までの交通費、フィールドワーク時の交通費、諸経費、調査研究のために必要な図書費等、資料費等、オンラインで参加されるのWifi通信費用等は各自の負担となります。

※課題の作成等のため、受講時はノートPCをご持参いただくことをお勧めします。

### 定員

30名（応募にあたっては選考があります）

## [10] 応募方法・応募締切

### 応募資格

下記、すべてを満たす方が応募できます。

1. 本学（福岡校）への通学または自宅等でのオンラインで8割以上出席可能な方
2. 社会人の方

※最終学歴、就業状態、年齢は問いません。

※会社勤務、経営者、自営、フリーランス等、現在の勤務状況は問いません。

※学生は応募できません。

### 応募手順

#### STEP①

#### エントリーフォームへの入力

下記エントリーフォームに必要事項を入力して登録してください。

URL: <https://forms.office.com/r/Pt9jak8e1q>



#### STEP②

#### メール送付（写真と動画）

##### ①顔写真

本人の顔写真データをお送りください（スマートフォンで撮影したもので可）

※受講生証に使用します。

##### ②自己紹介動画(1分程度)

スマートフォンで自己紹介や応募の動機などを撮影してください。

メール送付先：recurrent@mpd.ac.jp（事業構想大学院大学 リカレント教育事務局）

メール件名：「社内新規事業プログラム応募（〇〇〇〇（お名前）」

※写真、動画のファイル名にはお名前をいれてください。

※応募完了者には受付完了メールをお送りします。

### 応募締切

第1回：2021年8月15日（日）

第2回：2021年8月29日（日）

第3回：2021年9月5日（日）

※各回で応募選考を行い、内定します。

※合格／不合格の結果は締切後、約1週間以内にメールでお知らせします。

※応募内容の確認のため連絡を差し上げたり、追加でオンライン面接を実施する場合があります。

※第1回目、2回目で不採用の方は次回に応募可能です。

## [11] 説明会

---

本プログラムの目的やカリキュラム内容などを、オンラインで説明します。  
また、その場で質問することもできます。お気軽にご参加ください。

### オンライン説明会

第1回：2021年7月15日（木） 15：00-16：00

第2回：2021年7月19日（月） 15：00-16：00

第3回：2021年7月26日（月） 15：00-16：00

※上記以外でも、説明会内容を収録した動画をご覧ください。

※説明会参加は、応募要件ではありません。参加しなくても応募できます。



## [12] よくある質問 (FAQ) その1

Q. 「若手人材」むけとありますが、応募の年齢制限はありますか。

A. 明確な年齢の上限は設定しておりませんが、本プログラムは、個人での学費負担が比較的困難な若年層への教育機会を設けることも重要な目的と考えております。自らの費用での就学可能な方、または会社費用での派遣を働きかけやすいミドル層以上の方には、本学修士課程への出願をお勧めします。

Q. 大学では新型コロナウイルス感染への対策は十分に行われていますか。

A. 文部科学省、厚生労働省の指針に基づき下記実施しております。

- ・校舎受付での検温、消毒の徹底
- ・校舎内の定期消毒、イス、ドアノブ等の定時消毒、校舎ビル設備での換気に加え、加湿器、換気装置、空気清浄機の追加配備

Q. 大学校舎でのリアル受講を考えていますが、ワクチン接種の必要はありますか。

A. 文部科学省の方針により、ワクチン接種をするかしないかの判断は最終的には個人に委ねられていますので、大学としては、義務化はしていません。

しかし、安全にプログラムを実施するために、校舎での受講を考えている方には、ワクチンの接種を推奨します。各自で自治体等で実施している接種をご利用ください。なお、ワクチン接種のかかりつけ医の紹介を希望する場合は、個別に事務局にお問合せ下さい（自治体から届く接種券が必要です）。

Q. 修了証書はもらえますか。また、履歴書に書けますか。

A. 8割以上出席し、所定の課題や卒業制作を提出された方には、修了証書を発行します。履歴書等にも記載できます。就職活動、転職活動の際にご活用ください。

Q. 大学を卒業していませんが応募できますか。

A. 最終学歴に関わりなく、応募できます。ただし、応募時点で大学、専門学校、高校に在学中の方は応募不可です。

Q. 用事でどうしても出席できない日がありますが、大丈夫でしょうか。

A. 8割をリアル受講またはオンライン受講で受講出来れば大丈夫です。

Q. 受講して途中で合わないとしたら辞めてもいいですか。

A. 本プログラムは、国の税金で受講者のキャリア形成を支援するものです。受講される方には、その自覚をもってしっかり受講していただくことを求めます。本募集要項の内容をよく読んで応募するかどうかご判断ください。

## [ 12 ] よくある質問 (FAQ) その2

---

Q. 選考はどのように行われますか。

A. エントリーフォームに入力いただいた内容と、自己紹介動画をもとに選考します。応募者の意欲を重視します。

Q. フリーランス（自営業）として活動しておりますが、応募可能でしょうか。

A. 可能です。

Q. リアル受講とオンライン受講の違いはありますか。

A. 大学（事業構想大学院大学福岡校）で受講した場合は、教員に気軽に質問したり、受講生同士でコミュニケーションしやすいという利点があります。通学可能な地域にお住まいの方は、できるだけ通学をお勧めします。オンライン受講の場合も、教員へ質問したり受講生同士のコミュニケーションができるツールも用意しますので、積極的に活用してください。

Q. 福岡以外に住んでいますが、受講できますか。

A. 受講可能です。



お問合せ先

## 事業構想大学院大学 リカレント教育事務局

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-14-8 天神センタービル7階  
事業構想大学院大学福岡校内 (地下鉄天神駅1番出口直結)

TEL: 092-737-8411 (月-土 10:00-19:00)

Email : recurrent@mpd.ac.jp

### 個人情報の取り扱いについて

本学が取得した個人情報は、問い合わせ対応、応募、選考、プログラム運営のために必要な範囲で、事務局および担当教員が適切に管理、運用します。また、大学のイベント、行事等の案内の送付等にも使用いたします。